

みんなの

ちいき ふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより
vol.73

11
2023

CONTENTS

地域ニュース from 地区社協	2
新型コロナ特例貸付 / ひきこもりサポーター養成講座 ...	4
虐待防止講演会 / 成年後見セミナー / 弁護士コラム ...	5
講座案内	6
講座案内 / 身体障がい者福祉協会 / そうじゃてのひらマルシェ ...	7
令和4年度事業報告・決算	8
フードドライブ / 相談支援センター	10
まごころのページ	11
ハートフルそうじゃ	12

ポスター作品コンクール表彰式



赤い羽根共同募金活動 10月1日～12月31日
赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます！



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助けあい、支えあいのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

新本地区社協



多くの地域の方に参加していただきました！

「新本みんなのマルシェ」開催

新本地区社会福祉協議会では、例年、5月5日（金）の「こどもの日」に敬老会を実施していましたが、コロナ禍によって中止せざるを得なくなり、2年前からその日に「新本みんなのマルシェ」を実施しています。

3回目となる今年は、5月27日（土）に実施しました。当日は、高齢者から子どもまで楽しんでもらえるように、地元の協力者やサロン、若輝会などによる手作りの品物が販売されました。また、シニアカーや電動自転車の試乗体験、ポン菓子の実演、綿菓子作りの体験といった少し珍しい体験を準備しました。そして、室内ではポッチャやポケットボールなどのゲームコーナーを設けました。

午前10時から12時までの2時間でしたが、地区内外から200人以上の参加があり、「あっという間の楽しい時間でした」「また次回、必ず来ます」などうれしい言葉をたくさんいただきました。

この「新本みんなのマルシェ」が今後も続いていくようにこれからも頑張ろうと思っています。

（執筆者 O.S）

服部地区社協



いのちのバトンを通じて、もしものときのいのちを守ります。

「いのちのバトン」で安心を

昨年度は「救急安心キット（いのちのバトン）」を80歳以上の方や75歳以上のおひとり暮らしの方など、約200人にお渡ししました。民生委員・児童委員、福祉委員、県大生との毎月の見守り訪問のなかで、「突然、救急車に乗ることになった時には慌てますので、緊急連絡先やお薬情報などを記入した『見守り台帳』を冷蔵庫に保管していたら安心だと思いませんか」とお話をしながら進めました。地域の皆さまへも広報し、地域ぐるみの見守りを目指しました。「安心です」との声があり、励みになりました。

また、令和4年11月13日（日）に実施した約100人参加の第3回グラウンドゴルフ交流会は、雨に見舞われ、東公民館で「ラッキー賞大会」の開催となりました。次は自分の名前を呼ばれるかな？とワクワクしながら、抽選箱から名前をひかれた順にテーブルに並んだ素敵な商品を選び受け取ってもらいました。「ラッキー賞大会も良かった」との声に主催者としてホッとしたイベントとなりました。次は屋外のグラウンドで参加者多数での開催となれば幸いです。

（執筆者 S.M）

清音地区社協

清音いきいき健康福祉まつり



世代を超えた地域の交流の場となりました。

令和4年10月15日（土）清音福祉センターにおいて、清音地区社会福祉協議会主催による『清音いきいき健康福祉まつり』を開催しました。

地元の小学校及び認定こども園の子どもたち“きよねっこ”の日頃の頑張りを称えたいとの思いから、「㊦だんの㊧らしの㊨あわせ」を表現した福祉作文・ポスターを募集し、その表彰式を行いました。引き続いて歌やダンス等のステージ発表の場を設け、さらに地域の福祉団体や事業所にテイクアウトできるおやつや雑貨を販売する出店をお願いしました。

ステージ発表では、放課後児童クラブランドセルのダンスや踊り、総社西中学校コーラス部・男声合唱団のコーラスを通じて、地域の多世代の皆さんと交流することができ、意義深いものとなりました。

令和5年度は、地域で福祉の心を育むべく、さらにプログラムを追加して、10月14日（土）に開催しました。

（執筆者 Y.Y）

昭和地区社協

吉備中央町大和地区との交流



川魚のつかみどり、難しかったけど上手に捕ることができました！

令和4年12月13日（火）に吉備中央町大和地区社会福祉協議会（大和をもっと良くしよう会）が昭和地区社会福祉協議会へ視察にられました。地区社会福祉協議会活動（部会制度など）についてお話し、お互いに意見交換を行いました。大和地区は昭和地区と隣接しているため、今後お互いの地域で交流をしていこうとなりました。

その後、大和地区から招待を受け、3月に合同研修会を行い、有意義な情報交換ができました。7月には、「川魚のつかみどり大会」に参加させていただきました。地元の園児たちの踊りや、「川魚のつかみどり」では、園児の歓声がなんとも微笑ましく、我々も童心にかえった気持ちになりました。私たちが計画中の富山地区「芋煮会」にご招待を申し上げ会場を後にしました。

これからも、「出会い」「ふれあい」「語り合い」この3つのスローガンを掲げて、地元を発信していきます。

（執筆者 I.K）

新型コロナ特例貸付に関するご相談について

総社市社協では、新型コロナ特例貸付をご利用の皆さまの償還（返済）ならびに生活における相談支援にあたるため、「新型コロナ特例貸付くらし相談班」を設置しました。

新型コロナ特例貸付をご利用の皆さまに、「現況確認シート」をお送りします。

借入後も生活が苦しい場合や償還（返済）が難しく、償還（返済）免除や猶予の相談など、内容に応じた情報提供や関係機関の紹介をさせていただきます。

【お問い合わせ】

◇償還免除・償還猶予・その他償還に関すること
岡山県社会福祉協議会 償還事務処理センター
TEL：050-5526-9479（平日9時～17時）

◇現況確認シート及び上記以外に関すること
新型コロナ特例貸付くらし相談班（地域福祉課内）
TEL：0866-92-8552（平日8時30分～17時15分）



ひきこもりサポーター養成講座を開催しました

全3回のひきこもりサポーター養成講座を開催しました。今年度は、中央公民館、久代分館、昭和公民館の3会場で開催し、延77人にご参加いただきました。

講座は、ひきこもりの定義や概念、当事者や家族の話、居場所、サポーター活動など、盛りだくさんの内容でした。参加された方からは、「出来ることから少しずつしていきたい」「やりがいがあると思った」「たのしい時間でした」といった感想がありました。



グループワークの様子



第1回、第3回講師：ノートルダム清心女子大学
准教授 中井 俊雄 氏

養成講座受講後、新しくサポーター登録をしていただいた方を対象に、居場所「ほっとタッチ」の見学会を行いました。各部屋や畑を見ていただき、質問や「普通の家で落ち着けそう」などの感想もいただきました。今年度、登録していただいたサポーターさんは、10月頃から活動していただきます。

たくさんのご参加ありがとうございました！！

地域の方とともに、「児童虐待」について考えました



令和5年7月21日（金）に、児童虐待防止への理解を深めることを目的に、民生委員・児童委員さん、主任児童委員さん、福祉委員さんや子ども食堂に参画する地域の方などを対象に、「令和5年度 児童虐待防止講演会 ～みんなで守ろう！子どもの笑顔～」を開催しました。

今回は、倉敷児童相談所 子ども相談課 主任 葛尾 智裕氏、主事 諏訪 智之氏をお招きし、子どもを取り巻く現状や虐待防止の基礎知識、児童相談所や支援機関の機能・役割など、事例を交えわかりやすくお話いただきました。

参加者からは、「支援の実際を聞き、その難しさと皆さんが連携して対応していることを知った」、「見守りの大切さをあらためて感じた」、「地域ぐるみで子どもを愛していきたい」といった感想をいただいています。

地域の皆さまとともに、引き続き、地域でできることを考え、取り組んでいきたいと思います。

令和5年度 総社市成年後見セミナーを開催しました



認知症や障がいがある方などで、金銭管理や契約などの判断に不安のある方を支える成年後見制度。制度の意義や仕組みについて広く知っていただくことを目的に、令和5年8月18日（金）に成年後見セミナーを開催しました。

講義では、「知って安心！学ぼう成年後見制度」と題し、総社市権利擁護センター運営委員の今中章夫社会福祉士（備中サポートセンター）に成年後見制度の基礎的な概要や現状など、事例を交えながらわかりやすく講演いただきました。

また総社市市民後見人からの活動報告として、長田務さんに市民後見人をめざしたきっかけや活動内容、やりがいなど、市民後見人の魅力をお伝えいただきました。

参加者からは、「制度について全体から細部まで納得できたように思う」、「市民後見人活動について思いあふれるお話で、今後自分が助けることができる立場になった時に実践していきたい」などといった感想をいただき、参加者の皆様と一緒に成年後見制度について、学ぶ機会となりました。

あなたを守る消費者契約法の知識を、簡単に解説していきます。

消費者契約法は、事業者が不適切な勧誘をして締結した契約は取り消すことができると規定されています。

たとえば、「不実告知（消費者契約法4条1項1号）」。事業者が契約における重要事項について事実と異なることを告げて、消費者がこれを事実だと誤認して契約した場合には、取消の対象となります。ポイントは、客観的に事実と異なればよく、事業者側に嘘をつく意思（故意）がなくても取り消せる点。契約締結判断に影響が出る大事なことは重要事項といってよいでしょう。たとえば、「新鮮な魚」と言われて購入した魚が新鮮でなかったり、「持病に効く」と言われて購入したサプリメントが全く効かないような場合は、不実告知に該当し得ます。

取消の対象になるかの判断は難しく、証拠の有無が問題になることもあるので、あれ？と思ったら、迷わず消費生活センターや弁護士等に相談しましょう。



弁護士コラム

連載第2回

「消費者契約法 の 豆知識2」



権利擁護センター“しえん”

かわだ のぶか
弁護士 河田 布香

講座案内

法律ミニ講座

権利擁護センター所属の弁護士が、日常生活での身近な法律についてお話しします。

◆日時：第3木曜日の14時から15時30分まで(全10回)

⑥令和5年11月16日(木)

「土地に関する法律上のトラブル」

⑦令和5年12月21日(木)

「契約をめぐる法律問題について」

⑧令和6年1月18日(木)

「不法行為(交通事故など)」

⑨令和6年2月15日(木)

「各種ハラスメントについて」

⑩令和6年3月21日(木)

「プライバシー保護について」

※①～⑤については、今年度の開催は終了

◆場所：中央公民館 2階 第1会議室

◆お申込み・お問い合わせ

権利擁護センター しえん

☎：(0866) 92-8374

Fax：(0866) 92-8284

各講座の詳細は
本会ホームページを
ご覧ください。



みんなで学ぼう！発達障がい

発達障がいについての講座を5回シリーズで開催します。発達障がいの基礎的な知識について学ぶ良い機会ですので、ご興味・ご関心がある方は是非、ご参加ください！

参加方法は、会場参加もしくは、録画配信です。

◆日時：時間はいずれも10時から11時30分まで

①令和5年10月24日(火)

「発達障がいの理解」

②令和5年11月28日(火)

「個々の理解に応じたかわり」

③令和5年12月19日(火)

「わかりやすい伝え方」

④令和6年1月23日(火)

「子どもからの発信を育てる」

⑤令和6年2月20日(火)

「ライフステージに応じた支援に向けて」

◆場所：山手公民館 1階 コミュニティホール

◆講師：川崎医療福祉大学

医療福祉学部 子ども医療福祉学科

講師 重松 孝治 氏

◆お申込み・お問い合わせ

障がい者基幹相談支援センター

☎：(0866) 92-8578

Fax：(0866) 92-8284

お申込みは
こちらのフォーム、
またはお電話で



犯罪被害者支援講演会

毎年11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です。講演会では、交通事故でご家族を亡くされた秋田明美さんから、被害者支援の重要性や、交通事故防止について、ご講演いただきます。

◆日時：令和5年11月28日(火)

10時から11時30分

◆場所：山手公民館 2階 多目的ホール

◆演題：命と喜び

◆講師：秋田 明美 氏

◆お問い合わせ

権利擁護センター しえん

☎：(0866) 92-8374

そうじゃ！

くらしの困りと相談しよ！

つながる・つながる相談会

毎日の暮らしの中で、お困りごと、悩んでいることはありませんか？福祉や法律に関する質問やご相談を相談員（弁護士・司法書士・社会福祉士・行政書士・社会保険労務士など）がお受けします。詳細が決まり次第、社会福祉協議会ホームページに掲載します。（令和6年1月頃開催予定）

◆お問い合わせ

そつじゃ権利擁護ねっと事務局

（権利擁護センター しえん）

☎：(0866) 92-8374





総社市
身体障がい者
福祉協会

令和5年5月20日（土）に、身体障がい者福祉協会グラウンドゴルフ大会を開催しました。

グラウンドのコンディションも良好で、手話サークル「てのひら」の方と、28人で行いました。

プレイ中は、和やかな雰囲気、ホールインワンがでると盛り上がり、楽しい大会でした。

随時会員募集中！

【お問い合わせ】障がい支援係

TEL：(0866) 92-8578

障がいのある方を雇用する際のポイントを、岡山障害者職業センターの方にご講義いただき、実際の雇用事例について市内企業の方に発表していただきます。

◆日時：令和5年11月24日（金）
13時30分から15時30分まで

◆場所：山手公民館 1階 コミュニティホール

◆お申込み・お問い合わせ
総社市障がい者千五百人雇用センター

☎：(0866) 92-8379
Fax：(0866) 92-8284



お申込みフォーム

障がい者就労支援セミナー
2023 in そうじゃ

そうじゃてのひら マルシェフェア

宮脇書店総社店ヒロシゲマエ



市内障がい福祉事業所の
手作り品を販売します

そうじゃてのひらマルシェフェア

令和6年2月1日（木）から3月10日（日）まで
会場：宮脇書店総社店ヒロシゲマエ

- オープニングセレモニー●
2月3日（土）10：00～
会場：宮脇書店総社店駐車場
販売商品：焼き菓子、パン、
コーヒーなど

お問い合わせ：市地域自立支援協議会事務局

☎：(0866) 92-8379



／ チュッピーも来るよ！／



SOJA.TENOHIRA.MARCHE

～令和4年度の主な実施事業～

総社市社会福祉協議会の基本方針である「すべての住民が 自分の住み慣れた地域で 自分らしく生き生きと豊かに暮らせる ふれあい、助けあい、支えあいのある 住民主体の福祉コミュニティの実現」のため、①第2次総社市地域福祉活動計画の策定 ②地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進 ③福祉委員活動の推進 ④ふれあいサロン活動の推進 ⑤ボランティアセンター事業の推進 ⑥生活支援体制整備事業の実施 ⑦ひきこもり支援事業の実施 ⑧重層的支援体制整備事業による包括的な支援体制の検討 の重点事業とともに、各種事業に取り組みました。

○ 法人運営事業

- (1) 理事会・評議員会・監査会の開催
- (2) 職員の研修
- (3) 社会福祉関係機関、団体との連携
- (4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化
- (5) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新
- (6) 第2次総社市地域福祉活動計画の策定
- (7) 人材育成基本方針の策定

○ 地域福祉活動事業

- (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進
- (2) 民生委員・児童委員活動との連携
- (3) 福祉委員活動の推進
- (4) ふれあいサロン事業の推進
- (5) ボランティアセンター事業の実施
- (6) 福祉教育の推進
- (7) 生活福祉資金等の貸付
- (8) 生活支援体制整備事業の推進（協議体の開催）
- (9) 生活支援に関する取り組み
- (10) 生活支援サービスの実施
（生活支援にこにこサポート事業）
- (11) 日常生活自立支援事業の実施
- (12) 法人後見事業の実施
- (13) 社会福祉法人との連携事業

○ 子育て支援事業

- (1) 子育てサロン事業の支援
- (2) 地域密着型子どもまつりの開催支援
（地区社協子育て支援事業助成）
- (3) 子ども食堂開設・運営支援事業
（生活困窮支援センターと連携）

○ 高齢者福祉事業

- (1) 敬老事業の実施（地区社協主催で開催）
- (2) 高齢者等団体（老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会）の支援

○ 障がい者福祉事業

- (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営
- (2) 発達障がい者支援体制整備事業の実施
- (3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営
- (4) 障がい者地域活動支援センター（Ⅰ型）
「ゆうゆう」の設置運営
- (5) 地域自立支援協議会の運営
- (6) 障がい福祉フォーラムの開催
- (7) 障がい者（児）団体の支援

○ 権利擁護事業

- (1) 権利擁護センター“しえん”の設置運営
- (2) 権利擁護センター運営委員会の開催
- (3) 成年後見制度に関する啓発事業の実施
- (4) 市民後見人養成事業の実施
- (5) 市民後見人フォローアップ事業の実施
- (6) 市長申立て事務
- (7) なんでも相談会の開催
- (8) 弁護士による専門職向け法律相談の実施
- (9) 虐待防止研修会の開催

○ 生活困窮者支援事業

- (1) 生活困窮支援センターの設置運営
- (2) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施
- (3) 食糧支援に関する事業の実施
- (4) 子ども食堂との連携
- (5) 生活困窮支援センター協議会の開催
- (6) 一時生活場所の確保の実施

○ ひきこもり支援事業

- (1) ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置運営
- (2) ひきこもり支援等検討委員会の開催
- (3) ひきこもりサポーター養成講座の実施
- (4) ピアサポーター育成
- (5) ひきこもりサポーターへの活動支援
- (6) 居場所「ほっとタッチ」「ほっとタッチぽえむ」
の設置運営
- (7) ひきこもり家族会への支援
- (8) ひきこもり支援センター5周年記念フォーラム
の開催
- (9) ひきこもり者現状確認と地域との連携強化
- (10) 周知啓発活動の実施

○ 在宅福祉サービス事業

- (1) 介護保険事業の実施
- (2) 障がい福祉サービス事業の実施
- (3) 車イス貸出し事業の実施

○ 重層的支援体制整備移行準備事業

○ 福祉センター等管理運営事業

○ 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

○ 赤十字事業

○ 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

○ 視察研修等の受入

事業報告・決算は、本会のホームページ内で公開しています。 <http://www.sojasyakyo.or.jp/>

令和4年度 事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目		決 算
【サービス活動増減の部】		
収 益	会費収益	14,345,300
	寄付金収益	4,518,166
	経常経費補助金収益	96,468,500
	受託金収益	130,570,510
	事業収益	4,177,427
	負担金収益	1,083,630
	介護保険事業収益	64,981,865
	障害福祉サービス等事業収入	45,064,786
	その他の収益	1,400,317
	サービス活動収益計(1)	362,610,501
費 用	人件費	300,916,181
	事業費	32,546,872
	事務費	18,966,476
	助成金費用	21,341,330
	減価償却費	9,679,065
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,897,917
	その他の費用	95,698
	サービス活動費用計(2)	377,647,705
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)		△ 15,037,204

(単位：円)

勘定科目		決 算
【サービス活動外増減の部】		
収 益	受取利息配当金収益	9,474
	雑収益	1,304,987
	サービス活動外収益計(4)	1,314,461
費 用		
	サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		1,314,461
経常増減差額(7) = (3) + (6)		△ 13,722,743
【特別増減の部】		
収 益	固定資産受贈額	0
	その他の特別収益	490,373
	特別収益計(8)	490,373
費 用	固定資産売却損・処分損	0
	特別費用計(9)	0
特別増減差額(10) = (8) - (9)		490,373
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		△ 13,232,370
【繰越活動増減差額の部】		
前期繰越活動増減差額(12)		137,458,258
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		124,225,888
基本金取崩額(14)		0
基金取崩額(15)		0
その他の積立金取崩額(16)		0
その他の積立金積立額(17)		0
次期繰越活動増減差額 (18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)		124,225,888

令和4年度 貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末		当年度末
流動資産	163,969,086	流動負債	46,800,537
現金預金	92,288,894	事業未払金	28,038,084
事業未収金	67,838,192	預り金	40,903
未収補助金	3,842,000	職員預り金	2,797,550
固定資産	658,646,865	賞与引当金	15,924,000
基本財産	105,200,660	固定負債	129,157,281
建物	102,200,660	退職給付引当金	129,157,281
定期預金	3,000,000	負債の部合計	175,957,818
その他の固定資産	553,446,205	純 資 産 の 部	
車輛運搬具	909,395	基本金	3,000,000
器具及び備品	4,117,284	基金	372,546,930
緊急援護資金貸付金	1,700,000	福祉基金	280,571,382
退職手当積立基金預け金	129,157,281	報奨基金	2,572,548
福祉基金積立資産	280,571,382	地域福祉活動基金	89,403,000
報奨基金積立資産	2,572,548	国庫補助金等特別積立金	101,870,000
地域福祉活動基金積立資産	89,403,000	国庫補助金等特別積立金	101,870,000
運用資金積立資産	15,015,315	その他の積立金	45,015,315
備品等購入資金積立資産	30,000,000	運用資産積立金	15,015,315
		備品等購入資金積立金	30,000,000
		次期繰越活動増減差額	124,225,888
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	124,225,888 △ 13,232,370
		純資産の部合計	646,658,133
資産の部合計	822,615,951	負債及び純資産の部合計	822,615,951



ふくしネットそうじゃ
フードリンク
プロジェクト

「もったいない」を多くの「ありがとう」に

令和5年9月30日（土）に、清音福祉センターでフードドライブを開催しました。
フードドライブとは、いただきものや買いすぎってしまった食品など、家庭や企業で余った食品を募る活動です。この取り組みは“ふくしネットそうじゃ”とおかやまコープ、総社市生活困窮支援センターの三者協働で実施しています。
集まった食料は、生活困窮者支援や各法人で実施する“フードパントリー”などに活用されます。たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

“ふくしネットそうじゃ”は、市内の社会福祉法人（19 法人）からなる団体です。
地域における公益的な取り組みを考え、実践しています。



たくさんのご寄付をいただきました。



受付の様子

相談支援専門員は、 障がいのある人が安心して地域で生活が送れるように 様々な困りごとや悩みの相談に応じます！！

相談支援専門員は、障がい福祉サービスを受けるために必要な「サービス等利用計画」「障がい児支援計画」を作成します。

計画相談支援

- ・ 障がい福祉サービスの利用をサポートする「サービス利用支援」
- ・ 既に提供が始まっているサービスが適切かどうかモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行う「継続サービス利用支援」など



障がい児相談支援

- ・ 障がい児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）の利用をサポートする「障がい児利用援助」
- ・ 既に利用開始した障がい児通所支援の継続をサポートする「継続障がい児支援利用援助」など

お気軽にご相談ください！

【お問い合わせ】 計画相談係 TEL：(0866) 92-8559



※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額等を掲載させていただいております。



種 別	金 額 等	寄 付 者	住 所
一般寄付	500,000 円	株式会社 エイゼン社	中央4丁目
香典返し	100,000 円	倉森 昌子 亡夫（治）	窪木
篤志品	米 350kg	瑞泉院 高原妙泉	岡山市中区

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません

寄 付 者		住 所	寄 付 者		住 所	寄 付 者		住 所
▽香典返し								
村木 澄子	亡夫（公）	井尻野	中瀬 昌己	亡妻（佳子）	西阿曾	西岡 操	亡父（隆）	総社
枝松 明人	亡母（茂枝）	下原	田中 靖彦	亡父（稔）	上林	川西 勝利	亡父（光一）	秦
鳥越眞智子	亡父（繁）	東阿曾	妹尾 晴子	亡母（在間玲子）	槇谷	佐野 和広	亡父（幸彦）	井尻野
難波 美加	亡父（末雄）	井手	福田 宣明	亡父（仁司）	上原	立石 麻未	亡夫（敦嗣）	小寺
池上 浩一	亡母（桂子）	秦	石田 浩仁	亡母（静子）	井手	神崎 良幸	亡母（絹代）	新本
小坂 一子	亡父（日出男）	新本	徳田 敏美	亡父（服部甫弘）	長良	石井 保年	亡叔父（将司）	黒尾
富岡 明	亡母（和子）	—	村上 稔	亡母（榮）	福井	石井 保年	亡母（壽恵子）	黒尾
※寄付者のご意向により寄付者・故人名のみ掲載			平田 祐介	亡父（好信）	槇谷	難波 倫子	亡夫（幸男）	中尾
松永 教平	亡母（スマ子）	中央6丁目	平井 節子	亡母（森永文子）	槇	松野 國枝	亡夫（美己）	中原
永田 政志	亡母（康江）	久代	祢屋 純男	亡母（香奈女）	総社2丁目	小西 智子	亡母（豊香）	眞壁
徳村 和子	亡母（平田定子）	槇谷	井田 倫夫	亡母（静子）	富原	山本 弘子	亡母（森幸子）	眞壁
上野 紀昭	亡父（哲哉）	福谷	—	亡母（横田清子）	—	林 久仁子	亡義父（壽）	岡谷
中島 孝	亡母（敬子）	北溝手	※寄付者のご意向により故人名のみ掲載			林 久仁子	亡義母（庸子）	岡谷
塩見 貞雄	亡母（ミキ子）	新本	河野 博明	亡母（重子）	清音柿木	横田 耕作	亡母（艶子）	中原
大月 健一	亡父（佳二）	小寺	中山 良二	亡父（泰）	清音古地	村木 京子	亡夫（誠）	井尻野
小西 安彦	亡妻（満子）	下原	井上 茂樹	亡父（修治）	駅南1丁目	石森 武徳	亡母（榮）	井尻野
小原 安子	亡父（敏之）	富原	平田 博通	亡父（棟一）	中央4丁目	▽篤志品		
青木 智章	亡父（達夫）	下原	岡本 寛	亡母（緋佐子）	総社	平田 睦		溝口

（令和5年5月21日～令和5年9月20日まで 敬称略）

日本赤十字社

JAPANESE RED CROSS SOCIETY

赤十字活動資金へのご協力ありがとうございました。

令和5年度 総社市地区総額：8,600,000 円（令和5年9月20日現在）

皆様からご協力いただいた赤十字活動資金は、災害などで被災された方々への救援、支援をはじめ、防災・減災の知識・技術の普及啓発やボランティアの育成、医療事業、血液事業などに活用されます。

今後とも、赤十字事業へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金運動

運動期間：10月1日～12月31日

今年も、10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動がスタートしています。運動期間の始まりには、市内各駅や量販店で街頭募金活動を行いました。また、市内の各戸への戸別募金をはじめ、学校募金や企業・商店での協力店募金等、募金活動を地区役員の皆さまのご協力をいただき、進めております。運動期間中、どうぞご協力をお願いいたします。

みんなの想いが

未来を笑顔に

令和5年度赤い羽根共同募金ポスター作品コンクール

最優秀賞 山本 茉果さん（総社西小学校4年）

12月3日～9日は障害者週間

障がい福祉フォーラム ハートフルそうじゃ

～つなげよう あったかいきもち～

体験する！



開催日：12月2日(土)
時間：13:00～16:00
場所：山手公民館

社協だより
vol.73

11
2023

Chi-ki Fukushi
Soja City
Council of
Social welfare

メインイベント
手話ダンスパフォーマンス
14:00～15:00



重度の難聴がある2人組のダンスユニットです！

手話ダンスユニット
「DUMBO」



買う！

そうじゃ
てのひらマルシェ

みんなで楽しもう！



ハートフルそうじゃは、障がいがあってもなくても、
共に暮らしていける総社を目指して、
毎年12月の障害者週間にあわせて開催しています！

問い合わせ：ハートフルそうじゃ実行委員会（総社市社会福祉協議会内）
住所：総社市中央1丁目1-3 総合福祉センター内 電話：(0866) 92-8578
共催：総社市地域自立支援協議会、総社市共同募金委員会、
総社市、総社市社会福祉協議会

この事業は、赤い羽根共同募金から支援を受けています。

SNS もチェック！



総社市地域自立支援協議会
Facebook

編集発行／社会福祉法人 総社市社会福祉協議会
〒769-1131 岡山県総社市中央一丁目三番 総社市総合福祉センター内
TEL: 0866-92-8578 FAX: 0866-92-8579 Eメール: info@sojasyakyo.or.jp
ホームページ: http://www.sojasyakyo.or.jp